

福県医発第999号（地）

平成20年7月29日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 横 倉 義 武
(公 印 省 略)

第3回日本の医療に関する意識調査（患者調査・医師調査）
の実施について（協力依頼）

標記の件につきまして、日本医師会より別紙のとおり協力依頼がありました。

本件は、日本医師会においては、平成14年度と平成17年度に「日本の医療に関する意識調査」を実施いたしましたが、本調査を継続して、医師、国民、患者の医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療政策の議論を行うための基礎資料を蓄積するために実施するものです。

「患者調査」については、実施対象医療機関として、全国の病院・診療所の50医療機関を無作為抽出し、「医師調査」については、日医会員の中から2,000名を無作為抽出して、医療についての満足度や医療に対するニーズ、さらに医療全般のあり方について調査いたします。

つきましては、平成20年7月24日開催の全会第12回全理事会で協議の結果、本調査に協力することとなりましたので、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、日本医師会に確認をしたところ、無作為抽出された医療機関及び会員については、公表することはできないとのことでありますので、申し添えます。

小郡三井医師会より

広報担当理事 廣瀬真恵
会長 丸山 泉

上記調査票が参りましたら、調査にご協力をお願いいたします。



日医発第 434 号 (総研 21)

平成 20 年 7 月 11 日

都道府県医師会長 殿

日 本 医 師 会

会長 唐 澤 祥 人

「第 3 回 日本の医療に関する意識調査(患者調査)」ご協力のお願い

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、日本医師会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の医療費抑制政策により、医師不足や医療格差などの課題は深刻な状況にあります。日本医師会では提供側や受療側の要望をデータに基づいてはつきりと提示していくことが必要と考えております。平成 14 年度、平成 17 年度に「日本の医療に関する意識調査」を実施いたしましたが、本調査を継続して、医師、国民、患者の医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療政策の議論を行うための基礎資料を蓄積したいと考えております。患者調査については、医療についての満足度や医療に対するニーズ、さらに医療全般のあり方についてなどのお考えをお尋ねしたいと思います。

つきましては、「患者調査」実施対象医療機関として、全国の病院・診療所を無作為抽出いたしました結果、全国 50 医療機関のひとつとして、貴医師会所属の医療機関を対象医療機関として、選ばせて頂きました。調査の主旨をご理解いただき、誠にお手数ではございますが、本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

謹白



「第3回日本の医療に関する意識調査」（患者調査）概要

【調査目的】

第1回（平成14年9月）、第2回（平成18年2月）調査から継続し、患者の医療に対する意識やニーズの変化等の時系列的な把握を行う。同時に喫緊の医療に対する意識をとらえ、今後の日本の医療のあり方を検討するためのデータの収集・蓄積を行う。

【調査内容】

- ・ 総合的に診察してくれるかかりつけ医の有無
- ・ 医療に対する満足度と不満に感じる内容（受けた医療、日本の医療全般）
- ・ 医師患者関係（医師との対話状況、個別状況に応じた医療の実施状況等）
- ・ 医療過誤に対する意識
- ・ 医療費の負担感（保険料および自己負担額）
- ・ 在宅医療、終末期医療についての意識
- ・ 医療提供体制についての考え
- ・ 基本属性（性別、年齢、同居家族の内訳、受診した医療機関への通院期間および診療科、加入している健康保険の種類）

【調査方法】

面接法（患者の状況により郵送法を併用する場合あり）。

患者への聞き取りは、委託先の社団法人中央調査会社調査員が担当。

【調査対象】

全国25病院および25診療所に通院し、調査協力の承諾を得た外来患者1,000名とする。通院対象医療機関は前回までの協力病医院（40施設）および日医会員名簿から無作為抽出を行った病医院（10施設）で行う。

【調査期間】

7月下旬～8月上旬。調査日は1日間。

【集計・分析】

日本医師会総合政策研究機構

【結果公表時期】

平成20年9月（予定）

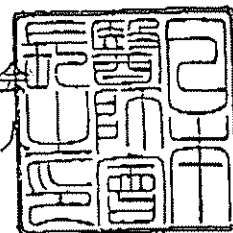


日医発第 460 号 (総研 23) F

平成 20 年 7 月 22 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 唐澤 祥人



「第 3 回 日本の医療に関する意識調査 (医師調査)」の 実施について

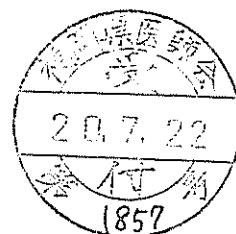
謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、日本医師会の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府の医療制度改革が進められるなか、医師、国民、患者の三者の医療に関する意識やニーズを広く収集し、医療政策の議論を行うための基礎資料を蓄積したいと考え、平成 14 年度、平成 17 年度に実施いたしました「日本の医療に関する意識調査」を継続し、「第 3 回 日本の医療に関する意識調査」を実施することとなりました。医師調査につきましては、本会会員の中から 2,000 名を無作為に抽出させていただき、診療業務の現状や課題を捉え、さらに医療全般のあり方についてのお考えをお尋ねする予定であります。

別紙「第 3 回 日本の医療に関する意識調査」概要により 7 月中旬から実施いたしますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

謹白



「第3回日本の医療に関する意識調査」(医師調査) 概要

【調査目的】

第1回(平成14年9月)、第2回(平成18年2月)調査から継続し、医療に対する意識や医師患者関係の変化等の時系列的な把握を行う。同時に喫緊の医療に対する意識をとらえ、今後の日本の医療のあり方を検討するためのデータの収集・蓄積を行う。

【調査内容】

- ・ 医療に対する満足度と不満に感じる内容(実施している医療、日本の医療全般)
- ・ 医師患者関係(患者との対話状況、個別状況に応じた医療の実施状況等)
- ・ 医療安全と今後の医療への意識
- ・ 医療費負担の考え
- ・ 医療内容在宅医療、終末期医療についての実施状況および意識
- ・ 医療提供体制についての考え
- ・ 基本属性(業務、勤務する医療機関の病床数、医療機関の開設者、担当する診療科) 等

【調査方法】

郵送法。

【調査対象】

日本医師会会員名簿から無作為抽出を行った全国の会員2,000名。

【調査期間】

7月中旬～7月下旬

【集計・分析】

日本医師会総合政策研究機構

【結果公表時期】

平成20年9月(予定)

【調査実施に関する問い合わせ】

日本医師会総合政策研究機構 03-3942-6472 出口または江口